

DIGITABLE 第 117 回勉強会レポート

2018年7月21日 於：江東区亀戸文化センター 6F 第3研修室



遠藤副代表：実践報告「仕事の現場から」

研究講座：「カラーモンキー・フォト」：平野正志講師
“ライトニングトーク” 希望者各自3分
会員発表：遠藤副代表：実践報告「仕事の現場から」
動画技術講座②「Filmic Pro の衝撃」：高木大介 講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Digitable 研究講座「カラーモンキー・フォト」

：平野正志講師

■前回に加えて・カラーモンキーフォトを紹介する。ライトはディスプレイのプロファイル測定だけの機能だったのだが、この機種ではプリンタープロファイルの作成もでき、測定したディスプレイと印刷の連携が図れる点が期待できると購入する。パッケージはシンプルに本体にカラーチャート、CD、取扱説明書程度で、ライトと変わらない。

■モニターの測定はライトと同じく自動で行われる。2台モニターをつないでいる場合はそれぞれの測定を繰り返す。測定の前に、まず測定器自体のキャリブレーションを行うのが上位機種らしい機能。

■次にプリンターのプロファイルに移り、様々な用紙に合わせた設定を測定する。測定は2枚のチャートを使用する用紙に印刷し、本体で測定する。測定した結果はプロファイルとして保存され、実際の印刷の折に印刷用紙の選択肢に加わる。

■プロファイル用のチャート印刷は定番の印刷工程の流れに行う必要がある。実際の印刷では同様な定番の流れで、プリンターは色補正なし、フォトショップによる色補正、用紙選択画面で作成したプロファイルを選択することで整合性のある印刷結果が得られることになる。



印刷した2枚のチャートを本体で測定する。印刷用紙の種類からできあがったプロファイルを選ぶ。

■研究講座「カラーモンキー・フォト」：平野正志講師

- ・カラーモンキー・ライトは安価で手軽ではあるがモニターのキャリブレーションのみにしか特化してなく、モニターの色通りにプリントしないといった問題には対応出来てない。カラーモンキー・フォトはそんな問題に対応できる優れたものではあるが5万円という価格はアマチュアがキャリブレーション・プリントの色調整だけに使う金額としてはやや高価な印象は否めない。
- ・プリント用紙の違いにも対応するなど上級者向けのツールと言える。



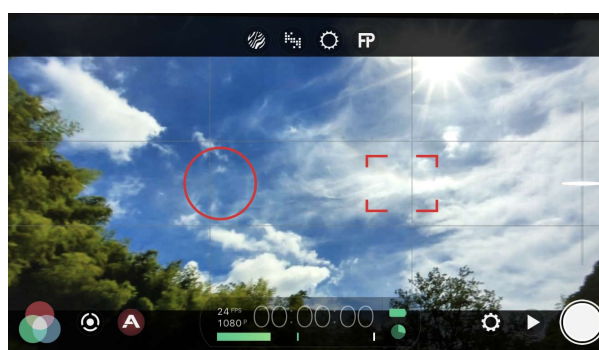
■ライトニングトーク

- ・MM 会員：ご自身でプリントされた写真を持参し、印刷に対する熱い想いを語られる。
- ・EY 会員：針穴写真展の紹介 8/20～26 江東区文化センター展示室にて開催。初日パーティに来てくださいとのこと。
- ・IH 会員：打ち上げ花火の撮り方を自身のHPに掲載しており、それを紹介
- ・MH 会員：福井県小浜市で久しぶりに撮った写真と小浜市の風情を紹介
- ・NY 会員：フォトブックの紹介。4回目の成人式のパーティ紹介
- ・KS 会員：写真集をまとめたい
- ・TN 会員：デジタル信号とアナログ信号をミックスさせる実験機を製作中だが、なかなか難しいと開発のご苦労を披露
- ・FM さん：ビジター参加挨拶
- ・SY：5/29に開催されたサービスデザインと写真と価値共創についての紹介
- ・AR：猫の具合が悪くなり、病院に行ったが動画、静止画など猫との触れ合いを撮ったというお話し
- ・HM 副代表：いくつかの写真展を回られたお話し。



■会員発表「仕事の現場から」：遠藤優副代表

- ・カメラマンとして物撮り撮影の現場、ライティング、撮影のこだわりについての紹介
- ・奥行きのある料理撮影は通常のレンズ撮影ではピントが合わないのをおり撮影をしており、使っているカメラの紹介
- ・一般的な撮影で2灯撮影が多いとのこと。多灯にすればいいという訳ではない。
- ・部屋の撮影時 24mm レンズ画角が自然に見えるので自分は多用している



Filmic Pro の撮影画面

■撮影技術講座「Filmic Pro の衝撃」：高木大介講師

- ・iPhone でプロ機並みの動画撮影が出来るアプリが1,800円という衝撃価格。
- ・何故カメラメーカーがこういうソフトを出さないのか？
- ・手振れ防止もあり、かなりの効果がある
- ・Log 撮影があるが、まだいじり倒してないので詳細は後日追って報告したい。
- ・現物動作サンプルを参加者全員で共有。驚きの声が多かった (HIDEKI 記)



DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digitable.info. 20180721 All Rights Reserved
